



麻里布小だより

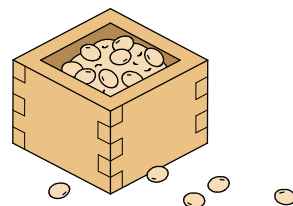


<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>

令和8年2月号 大野 元 良

如月を迎えて

短い3学期の折り返しとなる2月（如月）を迎えます。2月といえば節分。本来、節分とは季節の節目である立春、立夏、立秋、立冬の前日のことを示し、年に4回あります。冬から春に移る立春は、旧暦では正月節にあたり、2月の節分は1年の始まりとして特に重んじられてきたようです。昔から季節の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられており、様々な邪気払い行事が行われてきました。こうして考えると、豆まきは新年を迎えるための邪気払い行事として残る文化であることがよく分かります。



ご存じのとおり日本には、昔から伝わる伝統行事があり、それぞれに人々の大切な願いや思いを伝えて、今もなお伝承されています。環境がめまぐるしく変化する現代だからこそ、伝統行事や地域社会に伝わる人々の思いに耳を傾け、大切なことが忘れ去られることがないようにしたいものです。ご家庭でも、時節に応じた行事等を話題にさせていただくことは、これまでお示ししてきた「まりふPRIDE」の醸成にもつながります。

～夢や目標を大切に～ そのⅡ

先月は子どもたちの夢や目標の実現に向けた支援の話題を取り上げました。今回は、ご家庭で日々心がけたいポイントを提案した資料が目にとまり記してみました。基本的なことですが、少し立ち止まって考える話題となれば幸いです。夢や目標の実現を後押しする基盤となりそうな気がします。

1 あいさつと返事を大切にしましょう

家庭でのあいさつの習慣が、学校での人間関係づくりの基盤となります。

2 生活リズムを整えましょう

早寝・早起き・朝ごはんは、学習意欲や集中力の基礎になります。

3 話を“聴く”時間をつくりましょう

子どもが話したくなったときに耳を傾けることで、安心して心を開ける環境が生まれます。

4 やさしい声かけで励ましましょう

結果よりも努力や過程を認める言葉が、子どもの意欲と自己肯定感を育てます。

5 家庭学習の習慣をサポートしましょう

「毎日続ける」ことが大きな力になります。声かけや学習環境づくりで見守りましょう。

6 家の手伝いを任せてみましょう

役割をもつことで、自立心や責任感が育ちます。「ありがとう」を伝えて次の意欲に。

7 メディア・ゲームとの上手な付き合い方を考えましょう

「時間」「場所」「内容」を家族で話し合い、健康的に使えるようにしましょう。

8 失敗を大切な経験として励ましましょう

「失敗＝成長のチャンス」という視点をもつことで、挑戦する気持ちが育ちます。責める前に「どうすればよかったと思う？」と共に考える姿勢が大切です。

9 家庭は安心できる場所にしましょう

子どもが安心する場所があることで、外で頑張る力が湧いてきます。安心やぬくもりを。

10 親も“完璧”をめざしすぎないようにしましょう

子育てに正解なし。「できることを、できる時に」保護者の心のゆとりが、子どもの安心に。

～6年生音楽科「箏の学習」～

1月21日に、6年生は音楽科で箏の学習をしました。和器楽のよさを感じ取ることを目的としており、今年度も奥田直美先生を講師にお招きして、ご指導をいただきました。資料やいろいろな楽器を用意していただきました。箏の歴史や、音の特徴を学ぶとともに、優雅な音色や他の和楽器の演奏体験を楽しむ貴重な時間となりました。



～「安心・安全(にこにこ)」「交流(わくわく)」「探求(どんどん)」～